

令和5年3月6日

保護者 各位

坂井市立春江小学校  
校長 中村 敏明

### 「学校評価アンケート」結果の公表について

向春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この1年間、本校の教育活動に深いご理解とご協力、ご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、12月に児童及び保護者の皆様をお願いいたしました、「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。貴重なご意見やご指摘をいただきまして、たいへん感謝しております。昨年度に引き続き、多くの項目で高い評価をいただきましたが、一部では厳しい評価もいただき、本校の学校運営に対し大きな期待が寄せられていることを痛感いたしました。

つきましては、それぞれの評価結果について皆で話し合うことにより、今後多方面からの改善に心がけ、さらなる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

### 保護者の皆様からの主なご意見への回答

#### ○先生や友達、地域の人に元気よく挨拶する児童について

児童・保護者ともに、挨拶ができていると答えている割合は80%程度になっています。学校では「あいさつの輪を広げようプロジェクト」を行いました。取り組みの内容は、期間を決めて児童玄関で学級ごとにあいさつ運動を行うという企画でした。その結果、学校内・学級内で元気な挨拶が飛び交うようになりました。しかし、そのときにあいさつができても、廊下ですれ違うときや、地域の方や見守り隊の方にはまだしっかりできていない様子が見られます。知らない人やなじみの無い人への挨拶が苦手なようです。学校だけでなく、地域や家庭の人にも挨拶や返事ができるように、挨拶指導の継続をしていきます。ご家庭でも、児童への声かけを引き続きよろしく申し上げます。

### ○学習習慣アップ作戦について

「学習習慣アップ作戦にしっかり取り組んでいる」という質問に対して、児童・保護者共に数値が下がりました。児童が意欲的に学習に取り組めるように、この期間の課題内容の充実を図ったり、学習の足跡が分かるような振り返りシートに改善したりしていきます。また、保護者の方にもチャレ学ノートを見てもらう機会を設定し、児童の意欲向上に努めていきます。

### ○家族で決めたゲーム・ネットの約束を守れる児童について

児童と保護者の肯定率が大きく異なっています。児童は約束が守られていると感じていますが、保護者の方は十分に守られていないと評価されています。児童の心や身体の発達を考えていく上でゲーム・ネットの使用について啓発活動を今後も継続して行っていくことが必要だと考えています。学校は以下の2点に取り組みます。

- ① スマートルール春江を活用し、家族間で話し合う機会を必ず設ける取り組みを継続していきます。
- ② オープンスクール、部会便り、保健便り、学年便りを利用した保護者への情報提供を継続していきます。

#### 家庭・地域・学校協議会※から

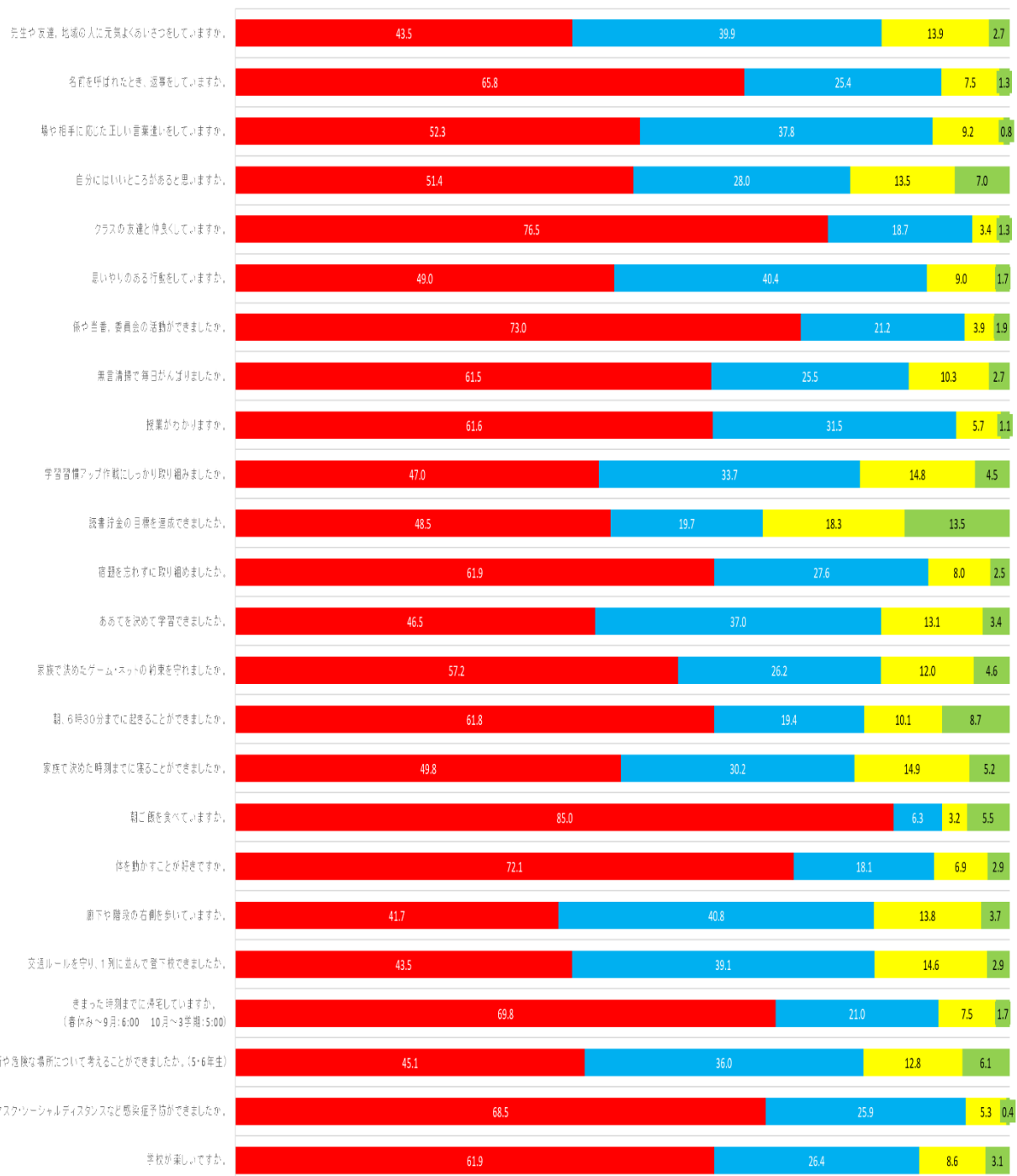
- 「自分にはいいところがありますか」の問いに80%弱が「ある」と答えている。自己肯定感の向上は子どもにとってとても大切なことであるからこの数値が伸びるようにしていかななくてはならない。
- 「家族で決めたゲーム・ネットの約束が守られましたか」の質問には保護者と児童で認識の差がある。子どもは守っていると思っていても実際は少し時間がオーバーしてしまうこともあるのではないかと。健康面も考えてルールを守った使用が大切である。
- 「防災教育の取り組み」では、実際に起こったトルコ地震などを題材にすると児童にとって考えやすくなると思う。
- 「春江小学校のホームページ」では、修学旅行や自然教室の様子を写真で掲載してくれているので保護者にとって子どもの活動が分かりとてもありがたい。
- 「クラスの友達と仲良くしていますか」の質問には児童・保護者ともに90%以上の高い数値になっている。マイナスの面ばかりを見るのではなく、よいところにも目を向け学校が適切な指導をしていることに感謝したい。  
今後も家庭・地域・学校が連携しあって子どもの健全な成長の手助けができるようにしていかななくてはならない。

#### ※家庭・地域・学校協議会とは

家庭、地域、学校が連携し、地域の特性や実情を活かしながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを行うため、地域全体の教育・子育てや学校運営の基本方針を協議し、それぞれの代表が責任をもって協働して子どもたちの育成にあたることを目的とする機関です。会議では、1) 学校の重点目標や取組状況等についての協議 2) 授業や学校行事の参観、施設・設備の観察、学校の教職員や児童との対話 3) 学校評価の結果や改善方策についての協議などを行います。

学校評価アンケート(児童)  
令和4年12月実施

■ そう思う(できた) ■ そう思うことが多い(だいたいできた) ■ あまりそう思わない(あまりできなかった) ■ 思わない(できなかった)

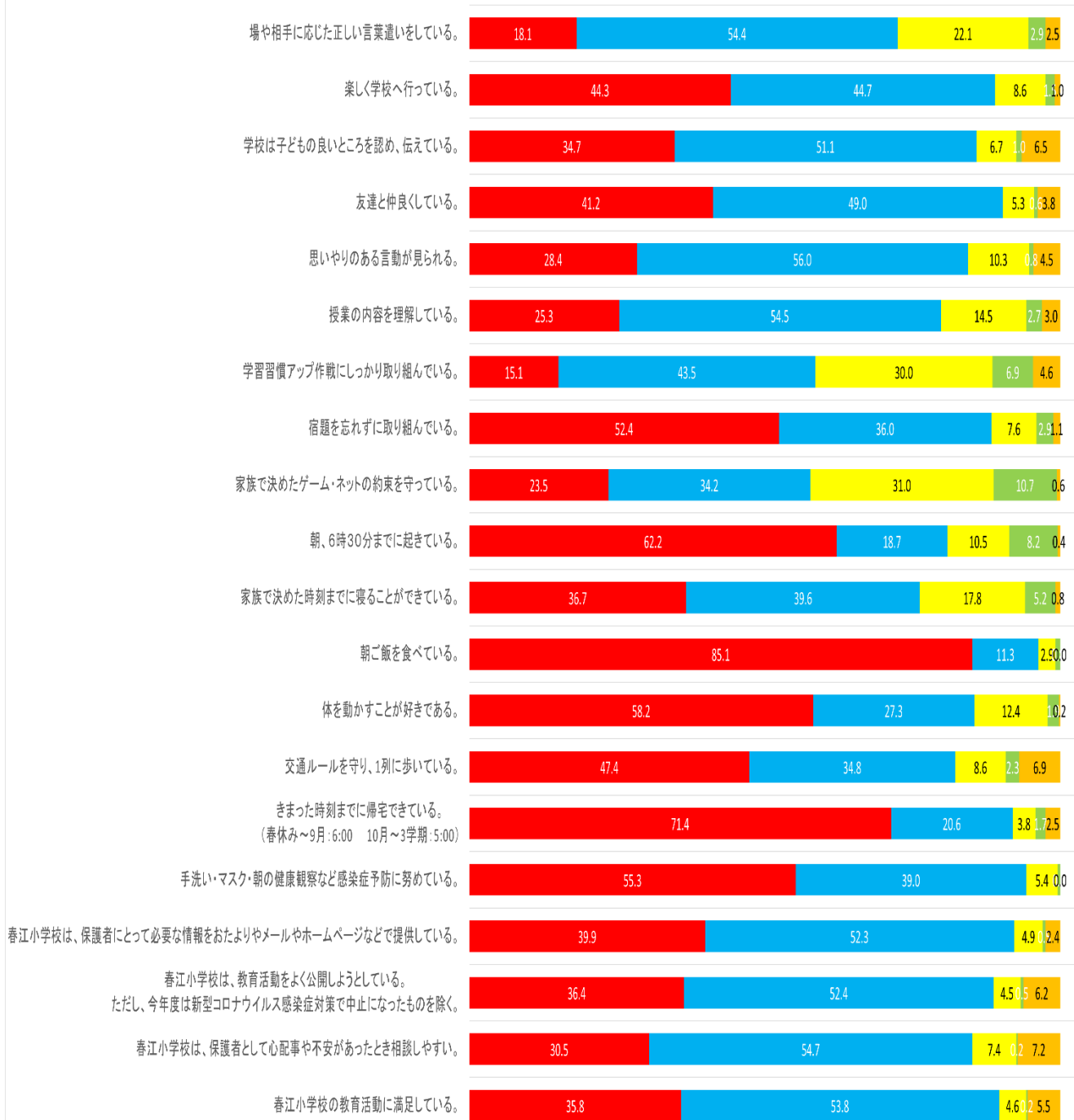


☆学校評価(児童)について

- 「自分にはいいところがあるとおもいますか」という質問に対して約80%の児童があると答えています。昨年に比べ5ポイント上昇しました。自己肯定感を高めていけるような取り組みを引き続き学校でおこないます。
- 「読書貯金の目標を達成できましたか」の質問に対して68%の児童が達成したと答えています。学年が上がるにつれて低くなっている傾向が見られます。本に親しむ機会を多くし、児童が意欲的に読書に取り組めるようにしていきます。
- 「家族で決めたゲーム・ネットの約束を守った」と答えた児童は83%でした。ネット犯罪が増加していることや児童の視力の低下の改善のため、スマートルール春江の取り組みを徹底するなど児童が安心・安全にネット環境を使えるように指導をしていきます。

学校評価アンケート(保護者)  
令和4年12月実施

■ そう思う ■ そう思うことが多い ■ あまりそう思わない ■ 思わない ■ 分からない・判断できない

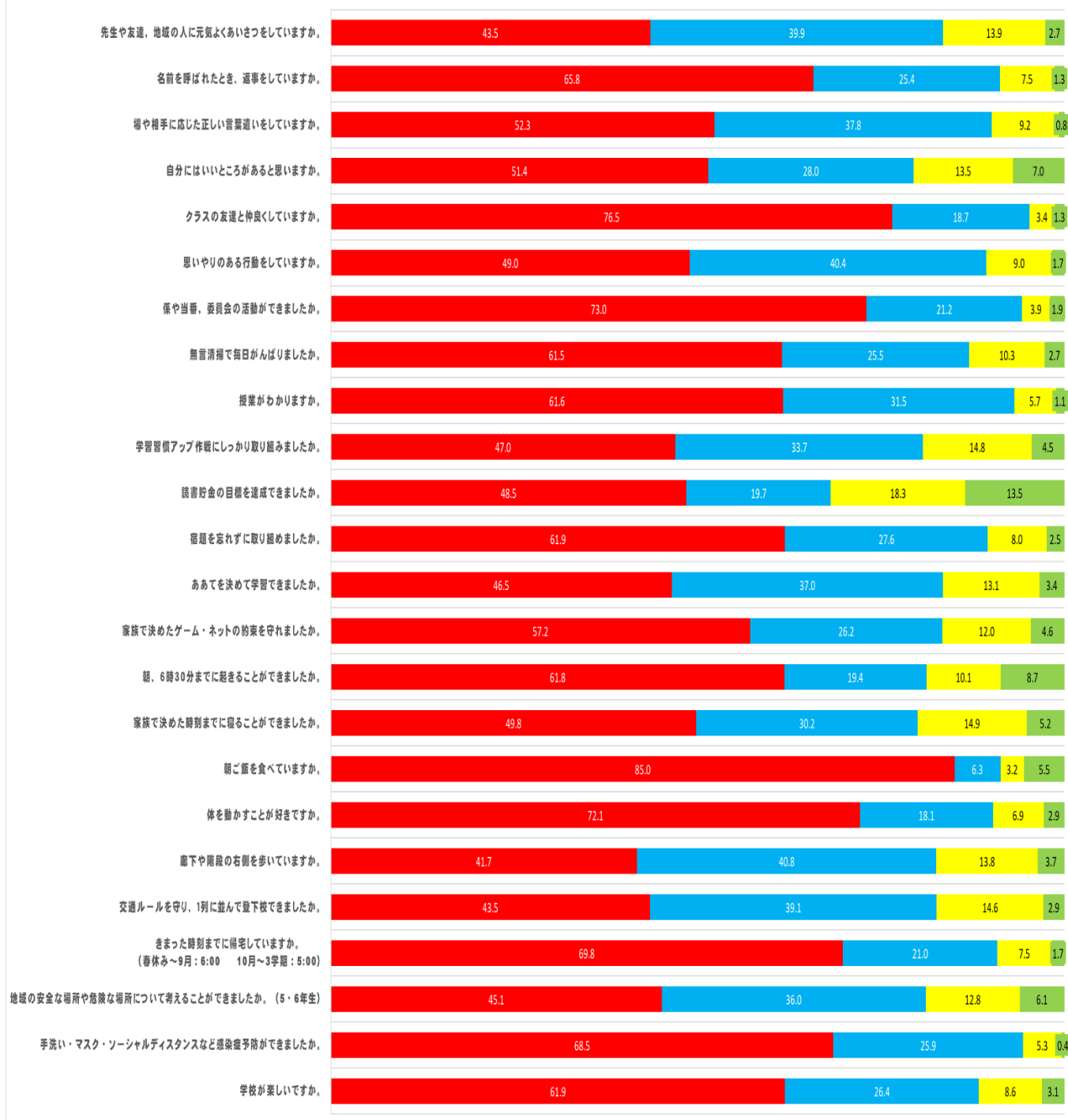


☆学校評価(保護者)について

- 「楽しく学校へ行っている」「友達と仲良くしている」と感じている保護者の割合が9割程度です。タブレットを利用した学習や学年間・異学年間の交流する時間を取り入れることで、児童が意欲をもち楽しく学校生活を送れるようにしていきます。
- 「学習習慣アップ作戦にしっかり取り組んでいる」と答えている保護者は59%になっています。春小っ子ファイルを利用した振り返り等をおこない児童が自主的に学習に取り組めるような手立てをしていきます。
- 「家族で決めたゲーム・ネットの約束を守っている」という質問に対して41%の保護者が「できていない」と答えています。学校・家庭が連携して児童ゲーム・ネットの環境を整えていく取り組みをおこなっていきます。

学校評価アンケート(児童)  
令和4年12月実施

■ そう思う(できた) ■ そう思うことが多い(だいたいできた) ■ あまりそう思わない(あまりできなかった) ■ 思わない(できなかった)



☆学校評価(児童)について

- 「自分にはいいところがあるとおもいますか」という質問に対して約80%の児童があると答えています。昨年に比べ5ポイント上昇しました。自己肯定感を高めていけるような取り組みを引き続き学校でおこないます。
- 「読書貯金の目標を達成できましたか」の質問に対して68%の児童が達成したと答えています。学年が上がるにつれて低くなっている傾向が見られます。本に親しむ機会を多くし、児童が意欲的に読書に取り組めるようにしていきます。
- 「家族で決めたゲーム・ネットの約束を守った」と答えた児童は83%でした。ネット犯罪が増加していることや児童の視力の低下の改善のため、スマートルール春江の取り組みを徹底するなど児童が安心・安全にネット環境を使えるように指導をしていきます。